

第1回 恋野小学校学校再編準備委員会 議事録

日時 令和8年5月19日 18:30～21:30

場所 恋野地区公民館

出席委員：西田委員長、前田副委員長、榊（梨）委員、澤村（優）委員、山本委員、三輪委員、外山（千）委員、田中委員、尾岡委員、榊（芳）委員、中山委員、外山（葉）委員、赤坂委員、上田委員、新田委員、奈良委員、澤村（紀）委員、北川委員、井田委員、土田委員

欠席委員：なし

教育委員会：今田教育長、田中教育委員、簀下教育委員、中下教育委員、岡教育部長、阪口参事、葛原恋野地区公民館長、家田学校再編推進室長、棚田学校再編推進室長補佐、南指導主事、東学校再編推進室主任、今山学校再編推進室主任

委員紹介、正副委員長の選出後、委員長により進行。

4. 隅田小学校・恋野小学校の再編統合の確認について（説明 資料 2P）

「新しい学校の開校に向けた具体的な協議に入ること」について了承される。

委員からの質問等は特になし。

5. 委員会の進め方について（説明 資料 3P）

委員からの質問等は特になし

6. 議事

1 教育課程について（報告 資料 4P）

委員からの質問等は特になし

2 児童ケアについて（説明 資料 4～14P）

議題「児童、保護者、教職員に対するアンケート」については、本委員会の委員の意見と隅田小学校再編準備委員会での審議も踏まえた上で、事務局一任で修正のうえ進めることで了承される。

委員からの質問等は以下のとおり。

	議 事
委員	アンケートをとることはいいかなと思うんですけども、自分の目標というか、アンケートをうまく書けない子供がいないのかが気になるんですけども、その点どのようになるでしょうか。
事務局	アンケート内容については、これまで学校の先生方にも見ていただいて、子供たちの発達段階に応じて、どのような問いがいいのかということでお話をさせていただいているところです。

	委員ご心配のような形で、その趣旨とかでわからないというところについては、もちろん低学年については親御さんと一緒にということですし、3,4年生についても各学校で配慮していただきながら、アンケートを取っていただけたらと思っています。
委員	例えばアンケートを書きにくいような子供さんがいらっしゃった場合は、保護者、先生も含めてサポートをして意見を出していただけるようなシステムというか、仕組みがあればいいのかなと感じました。
委員	1回目のアンケートを作成するにあたり、説明にあった高学年の5,6年生のアンケートはなかったんです。該当する子供たちの提案があったので、そこはやっぱり卒業するからとちがって、卒業する子供たちにも気持ちを聞く必要があるかなというのが出てきました。それで、このアンケートをすることになりました。 そして、該当する子供たちのアンケートの項目は、具体的にいっぱい書いてあったんです。そうすると、答えを引っ張られてしまうというのがあって、3,4年生、1,2年生の漠然としたようなアンケートになると思われるようになったと思います。 それに準じて5,6年生の文言も、どう思っていますかというように表現することで、思いを自由に書かせたいということで、このようなアンケートになったと思います。
委員	小学校4年生の息子がこれを見たときにどういうふうを書くのかを想像しながら、このアンケートを見させていただいたんですけど、アンケートに答える環境は、子供は学校で書くのか、それとも持ち帰るのか。多分子供は、小学校中学年で、学校行くとテンション上がって、皆と同じこと書こうとか、本音をおちゃらけるというか、学校でみんなで書こうとなったときにちゃんと書けるのかという思いがあるのですが、小学校1,2年生は保護者と書くとお伺いしてるので大丈夫かなとは思いますが、どういうふうにサポートしていただけるんですか。
事務局	アンケートはすべて持ち帰って回答していただいて、後日、学校に対して提出していただくことになります。
委員	付け加えていいですか。 当初、タブレットでアンケートをするというお話もいただきました。紙ベースかどちらかという話もあり、タブレットであつたら自分たちが確認もできないこともあって、紙ベースで形をとりました。
委員	親子で一緒に同じような質問を並んで書くという状況になるわけですね。もう1つ考えられるのは、こう書きやと親が指示する可能性があってもOKですか。
事務局	3,4年生は、子供たちと保護者さんと別々に分けてあるのは、保護者さんとしてサポートがいる部分も出てくるかもわからないんですけども、基本は子供たちに書いてもらい、保護者さんは書いているのを見守っていただくような形でしていただければありがたいと思います。
委員	5,6年生の子供たちに対するアンケートの文面で「皆さんが小学校卒業して中学生になっている」ところの「皆さん」と、「このことについて皆さんが感じているこ

	とがあれば聞かせてください」があるんですけど、「あなたが感じていることがあれば聞かせてください」のほうが自分ごととして考えるんじゃないかなと。9ページの3,4年生のアンケートも「新しい学校生活とみんなの今の気持ちを教えてください」も、「あなたの今の気持ちを教えてください」の方がぐっと迫るのかなあとと思うので、そういう言葉に変えてもらったらと思います。
事務局	自分ごととして意見を出してもらいやすいようにという視点でご意見いただいていると思いますので、そのような形で見直させていただいて、事務局で修正していくという形でもよろしいでしょうか。
委員	お任せします。

3 学校施設について

(1) 学校施設の改修、(2) 学校備品の取り扱いについて(報告 資料 15P)

委員からの質問等は以下のとおり。

	議 事
委員	学校施設の改修についての報告のところで、校章・校名は変わりますよね。こういう表現はどうかと思うんですけども。 「校章・校名が変更になった場合」、これは確実に今の隅田小の校章とかが変わるわけでしょう。再編統合なので、こういう表現はどうかと思うんですけども。
事務局	のちほど校名の議題がありまして、詳しくはそちらでお話しさせていただきます。校名は新しい校名とすることから、協議を開始していただくことになります。
委員	でも、何か引っかかるんですよ。校名とか、ある程度変わりますよ。 いろいろ聞いたところによりますと、隅田小学校の体育館の緞帳はかなり立派なものであると聞いたんですけども、立派であっても再編統合という言葉で私は納得したんです。 だから、恋野小学校と隅田小学校が一緒になって新しい学校ができるということをする方がいいと思うんです。「隅田小へ行かんなん」「統合される」というような表現をちょっと耳にするんです。だからこの表現がすごく引っかかってたんで、言わしてもらっただけです。
委員長	前提は統合ですから。そこはしっかりと委員の方も頭に入れてほしい。私の意見ですけども、校名・校章は変わると思っています。今の時点でこういう表現がされていると思うんですけども、恋野の人の中には引っかかる方もおられると思います。今日はどういうものに変えるかは別として、変えるという決議はできると思うんです。
委員	資料見て、改修はこれだけなのかなという思いをします。備品で使えるものは当然使うべきやと思う。移動についてはもちろん学校の現場の方とご相談の上でしたらいいのかなと思います。 ただ、例えば人員にしても予算的に浮いてくるところが出てくると思うんです。一緒になってよかったと、子供、保護者、地域の人も思えるような施設改修なのか、

	或いは新設もあるのかなと思うんです。 この改修なり、備品の取扱いの報告については、これだけなのかなという思いがするんですけども、その辺はいかがでしょうか。
事務局	現在の隅田小学校につきましては、平成 25、26 年に大規模改修を実施しています。その後、再編統合にかかわらず、隅田小学校の改修については随時進めていまして、空調の設置、照明の LED 化、トイレ洋式化、公共下水道接続等の工事等が実施されています。恋野小学校でも空調の設置、トイレの洋式化等を実施しているところです。 今回の再編統合に当たり実施する体育館の長寿命化工事については、通常であればもう少し後のなる状況ですが、体育館を綺麗にしていくというところで実施していくとしています。
委員	空調の整備なんですけども、全教室及び体育館も含めてなんでしょうか。
事務局	隅田小学校の教室には配備できていますが、体育館については市内すべての学校で、設置はできていない状況になります。
委員	そもそも前提なんですけど、体育館は避難所の指定を受けてるんでしょうか。
事務局	避難所の指定は受けています。
委員	学校の話とはちょっとずれるかもわからないんですけども、避難所ですとエアコンや、公共下水接続に伴ってトイレの洋式化とかは、どんな取組になってるんでしょうか。
事務局	トイレの洋式化については、隅田小学校は完了しているところです。
事務局	体育館の空調なんですけども、国が令和 15 年度までに体育館の空調設備に取りかかる自治体には補助金が出という制度がありますので、その制度を活用すべく、市内の学校及び中学校で計画的に取り組んでいく予定です。
委員	橋本市で学校事務として働かせていただいた経歴がありまして、その際に思ったんですけども、再編統合を行い、新しい学校になると思うんです。備品についても、あるものをどう活用していくかということはとても素晴らしいと思うんです。 再編統合によって、人数が増えたり、いろんな特性を持った子供が新しい学校に集うということになるので、再編統合した学校としての予算をつけてあげて欲しいと思うんです。 市の事業として再編統合しているのであれば、予算がついて当然だと思うので、新しい学校に十分な設備が整うような予算を要求をしていただけたらと思います。
委員	先ほどの体育館の空調について、再編をしたところから整備するという具体的なものでしょうか。
事務局	1 度にはできませんので、小学校も中学校も含めて、まずは計画立てるところから取り組んでいきたいと考えています。
委員	再編するというデメリットがあるんで、そこは先につけますというところで進めていただきたいと思います。
事務局	今ここでわかりましたという返事はできないですけども、ご意見としてちょうだ

	いし、検討します。
委員長	この熱い中でエアコンなかったら避難なんて無理あるんですよ。そこをよく考えていただきたい。1日ぐらいだったら何とかなるけど1週間になると無理ですよ。真夏も冬も無理です。あんな寒いところで段ボールベッドも無理です。だからこれ真剣に考えていただきたいと思います。
教育長	市として、避難していただいたときにどう考えてるかという、普通教室と特別教室の一部が空調整備できていますので、必要に応じて、そういったところを活用していただくということを学校との間で協議しています。体育館は避難所として指定はされているんですけども、過ごしていただくにあたっては、冷暖房の効くところを、必要に応じて開放しながら運営していくことを考えています。
委員	学校備品の取り扱いについて、学校と協議の上で進めますとありますが、現状をお話します。再編に向けて職員全員が時間を見つけて、片付けていこうということで、子供たちが日頃生活している教室などは空き時間もなく、時間がつけられるのは家庭訪問の時期、子供たちが帰った残りのメンバーで特別今日教室から始めました。 旧彦谷小学校からの備品が残ってたりとか、とりあえず2年間で必要な分だけ見分けようかということで1回目の整理を行いました。学校には車もありません。トラックも持出です。職員も乗って来てくれたんですけども、それから役所の方にいらぬものを捨てに行く、そうなった場合、1メートルとか基準があり、いちいちそこまでやってると捨てることができません。そういうのを今お願いしているところです。 夏休みに特別教室の空調工事が入ります。そのこともあると、いつ作業ができるのか。学校の先生たちは通常授業してます。残ってる2,3人で特別教室をちょっと見ただけです。実は昨年度から少し図工室とかの片付けもしてて大分綺麗にはしてるつもりですが、協議の上で進めるとなった場合のめどが学校現場にはなかなかないところです。教育委員会とお話していますが、早急にしていきたい。
委員	体育館のエアコンについては、例えば災害時は電気が通らないこともあるかと思うんですけども、その辺りのところも含めてご対応いただけるようお願いしたい。 恋野小学校も学校として機能しなくなったとしても避難所になるんじゃないかと想像している。恋野小学校だけ置き去りになることがないように、跡地活用の中にそういうのも含めていただけたらと思う。今回、小学校が一緒になるのが、恋野小学校と隅田小学校が最初だと思う。前例になると思うので統合に向けて、しっかりと魅力ある学校づくりになる形をお願いしたいと思っています。よろしくお願いします。
事務局	委員おっしゃられたように、そういう学校づくりを目指していきます。 教育委員会が主体となって動くんですけども、学校や今まで学校運営を助けていただいた皆さんのご意見をいただきながら、単に隅田小学校と恋野小学校がひとつになるんじゃなく、新しい学校づくりという観点で、子供たちがわくわくして登校

	するような学校づくりを目指したいと考えます。 災害時のことですので、電源についても想定しておくということでご意見ちょうだいしたいと思います。
委員長	災害に話しが行ってしまっていて、統廃合から離れてるような気がします。 統合の話しに戻したいと思います。
委員	先ほど教育長から、共育コミュニティは大事ですという言葉がありました。私たちは放課後の触れ合いルームとかで学校に入っていきます。打ち合わせをしたいときがたくさんありますが、あやの台小学校も隅田小学校も空いている部屋がないときが多いので、恋野小学校で集まりましょうかと、よく恋野小学校には来ます。 隅田小学校は空きスペースとか、そういう余裕のある場所はあるのでしょうか。
事務局	先ほど新しい学校づくり推進画を紹介させていただいたんですけども、実はこの学校の再編統合の計画もその計画の中に入っています。 学校の再編統合は、子供の学習環境を踏まえた規模的なところもあるんですけども、今後10年間で子供たちにいろんなよりよい教育環境とするためにソフト的な取組も踏まえた、そこに学校再編計画も含んだ新しい学校づくり推進計画を策定しています。今年度の4月から計画期間として、再編統合する学校もそうではない学校も含めていろんな取組を開始するという計画になっています。 その計画の中に「共創空間」としてんですけども、共育コミュニティを中心に学校とつないでくれる共育コミュニティ等の活動拠点となる場所が要ということ、活動拠点となる部屋を小学校に作っていききたいという計画です。隅田小学校にもそういう共創空間を作っていききたいと考えてます。そこには教室の空きの状況とかもありますので、設置できる時期の調整も当然行うんですけども、再編統合する学校から「共創空間」の設置を図っていききたいと考えています。

(3) 恋野小学校跡地活用について（報告 資料 15P）

委員からの質問等は以下のとおり。

	議 事
委員	備品の片付けのこともあるんで、跡地決定をいつに目標を持っておられるのか。
事務局	令和10年の4月に恋野小学校が学校としては使用しなくなりますので、最短はそこになるんですけども、跡地活用についての協議は結構時間がかかってこようかなと思います。 それから、備品は令和10年の3月末まで日常的に使っているものがありますので、整理していける備品もあれば、日常的に使っている備品は、廃校までに整理や移動ができないものもあります。廃校になった後も一定期間、備品の整理期間が欲しい聞いていますので、跡地活用の内容が決まっても、スタートはこの後にしか活用できないところも、整理していききたいと考えています。
委員	小学校の統合までには予算とか多く使っただけだと思うんですが、統合した後の備品の片付け期間などに使う予算というのはあつたりするんですか。

事務局	予算はこれから措置していく必要があります。例えば備品のピアノとか、自分たちで移動しにくいものは、早く整理をしていくとか、業者に見てもらう費用とか、移動が専門業者でないとできないようなものは、費用が発生してくる可能性が大きいです。 それ以外に、処分していくときにいる費用が開校後のタイミングで出てくるなら、そのタイミングで予算措置が当然いっていきます。最も早い整理は、令和9年度に予算を取る必要があるし、そうでないものは、もう後の年度で、予算措置も必要に応じて出てくると考えています。実際のどのタイミングでどの備品をどう整理していくかを、今後学校さんと協議していくことになりますので、そのスケジュールに合わせて予算措置も必要と考えています。
委員	橋本市の小学校や中学校が統合になって、その跡地がもう荒地地みたいな感じになってるかなというところも気になっていて、恋野地区にとってはとても大事な中心地があつという間に荒地地になって、運動場とかも草とかも生えてきてしまうので、そういう悲しい現場を見たくないというのは保護者としても、多分地域の方々もあるかと思うので、統合しました終わりではなく、その後の活用にも市が予算を取ってほしい。他の小学校とかは荒地地になってるんですか。
委員長	今のことについて意見あるんですけど、信太小学校は民間が使ってます。多分予算処置も何もされてない。業者に貸し出したらそれで終わり。そんな現実見えています。だから、この委員会終わってからも、活用に関する委員会を作らないとほっとかれます。この委員会終わったら跡地活用の委員会立ち上げて、区民全員でやらないとほったらかしになります。中身については、まず今の学校統合再編終わってから、やればいいと思っています。組織だけは早く作らないといけなと思いますけど、中身については恋野区域全体で考えていくべき。行政も使いたい意向があれば、それも考えて、進めていくべきと思っています。
委員長	恋野小学校の跡地については、持ち帰っていただいて次回以降、皆さんから意見を広く募集され、いろんな意見を持って、この会議で発表して欲しいと思います。

4 通学安全対策（１）スクールバスの運行ルート（恋野ルート）について（審議 資料 16、18～21P）
 議題「恋野スクールバスのルート・停留所・便数」について、ルート・停留所・便数を保護者の代表委員と事務局で調整し、結果を次回委員会で報告することです承される。

委員からの質問等は以下のとおり。

	議 事
委員長	この件は保護者と事務局で調整を行っていただいてでないと、この委員会ではちょっとわからない。もう1か所増やして欲しいというところも一度再考願って、なぜ増やして欲しいか、また市有地やったら安全に乗降できる場所あるん違うかなと思いますので、検討をお願いしたいと思います。
委員	実際スクールバス利用人数とかそういうのはわかります。どの停留所で何人乗るとか、教えてもらったほうがわかりやすいかと思うんです。あとスクールバスの乗車

	人数の教えてほしい。 一旦隅田小学校に送って、また恋野にだけ行くとなると、少人数で行けるだろうし。どんな形の何人乗りのスクールバスにするとか、そういうことがわかる方がバス停をふやすという形になってくると。また1人乗って、また行って1人乗ってとかだと。資料見ると広場のあるところで乗られる場合と、道の直線、特に中道なんかだったら直線のところで乗るようになると思うんですよ。そしたら危険もあるだろうし、まだ上田から中道行くのは、歩道のあるところだと思います。 恋野地区だったら、恋野橋から上ってきて、農免のほうに来る場合は左側にある程度ロータリーみたいなのあるから乗れるんですけども。逆に農免道路から恋野橋に向かって降りていくと、恋野集会所の前のところとかは危険なんです。上からスピード出して降りてくるんですよ。 そんなふうに考えたら、ルートによって乗る方向、横断歩道を渡って反対側で待たなければいけないとか、かなり危険もあるかと思うんで、人数なんかわかったらもっと具体的にみんな考えるし、多分保護者の方でも、地区が違ったら全くわからないと思うんですよ。その辺きっちり人数把握した段階でいろいろ協議していただく方がいいかと思います。
事務局	各停留所の利用者の数につきましては詳細な資料が手元にはないんですけども、運行を予定しているバスの大きさは、中型バスを想定しています。最大の乗車人数が確か27名程度だったかと思います。 現状、各停留場での人数は把握してないんですけども、見込みとして総数で考えてましたらその中型バスですべての方が乗れるということで想定をしているところです。
委員	10年度の児童数でよければ、上田集会所で4名。それから中道で2名。恋野小学校で4名。恋野地区公民館2名。恋野集会所で4名。それから恋野橋西で3名になるかと思います。合計19名です。そこに把握できてないのが、2,3名います。 2便に分かれた場合の後の方が大きくなるかなと思います。それからバスが最大27名とお聞きしたんですけども、昨年度末に試乗で南海りんかんバスの乗り入れをした大きさのバスでよろしいですか。
事務局	隅田小学校が南海りんかんバスさんに運行していただいている関係もあり、このルートを考える上で、バスがこのカーブ曲がれるのかを回送バスで走っていただいたという状況です。前に恋野小学校の中にも入っていただいて、小学校も停留所に考えてますので、実際入っていけるのかということで、中型バスで試乗していただいた形になります。
委員	運転手はどんな会社の方がやられるんでしょうか。
事務局	バス運行事業者になりますので、2種免許を持っているお客様を乗せる資格を持った運転手になります。
委員	南海りんかんバスで決まっているということでしょうか。
事務局	契約とかはこれからになりますので、まだ決まっていません。現に隅田小学校を南

	海りんかんバスに運行していただいていますので、恋野ルートも想定しながら相談している状況です。
委員	台数は1台になりますか。2台になりますか。 案を見させてもらって言いたいこといろいろあるんですけども、上田地区の校区なんですけども、他の地区のことがわからないので別途協議するのであれば、どういう形になるのかというところをちょっとご意見伺いたいです。 それは第1案と第2案のことでしょうか。ちょっともう一度説明お願いできますか。
事務局	まず台数のことに関してですが、現在は1台での運行を想定しています。
事務局	決め方につきましては、先ほど説明しましたように、1台で2回まわる案をご説明をさせてきてもらってました。そこに乗車時間短く、学校への到着時間のことも考えて行き1便案というのが出てきました。保護者の皆さんが、どちらを希望されるのかを掴みたいということもありまして、アンケートをとらしていただいたんですけども、半分弱ぐらいの方からご回答いただいて、5対3でほぼ似たような数字に分かれた状況もありますので、実際どっちで決めていくかは悩ましいところです。 ただ、全員から回答いただいているわけでもない状況も踏まえて、保護者さんともう一度調整させていただいて、次回の委員会に提案させていただいた方がいいということで、お時間をいただけたらという提案となっています。
委員長	最初の案では1便で2回回る。ところが最初と最後は、早い時間とぎりぎりの時間になることで、次の案は1便なんですけども、1回目は上田回って、赤塚中道で隅田小学校。小学校からとって返して、恋野だけ回って隅田小学校。それを1回で回る。その案と、全体に2回まわる案と現在は2つになってまして、それが回答ありましたように、これになってるということです。
委員	保護者と調整する方法は決まってないですね。
事務局	終了後に少しお時間いただいて、どうやって進めたらいいのかを改めてご相談させていただきたいということで考えています。
委員	中道なんですけども、こども園時代にバス登園を経験しているんですけども、恋野だけ回るバスではなく、ぐるっと隅田も回った上で来るようなバスにも乗車していた経験があります。その年にどの地区にどの人数がいるかによって、どういうバスの回り方にするかを、全体的にこども園では検討してくださっていました。これは完全に恋野だけという考えになってるかとは思いますが、他の地区を回って、そのバスがこっち側に来るっていう案もなしじゃないんじゃないかなと思ったりはしたんですけど。
事務局	隅田小学校は河瀬・下兵庫から乗ってくるところと、山内・平野・霜草回るルートがあります。そこに恋野が1つ加わって3ルートになるイメージです。 ぐるっと回ることで、子供の乗ってる時間がものすごく長くなるので、児童の負担考えたら、別々に動く方がいいんじゃないかという視点もあります。

4 通学安全対策（2）スクールバス乗降場の安全対策について（報告 資料 16P、22P）

議題「スクールバス乗降場所の安全対策」については、提案通り進めることについて了承される。
委員からの質問等は以下のとおり。

	議 事
委員	山内・下兵庫を含め、ここを使うという形になるんでしょうか。
事務局	現在隅田小学校で2ルート走っています。今は隅田小学校の正門前に止まって子供たちが乗降してるんですけども、やっぱりその安全性をより向上したいということがあります。そこに恋野ルートも加わることになりますので、バスがここに3ルートから集まってくる形になります。児童の乗降の安全性を確保していくために、この専用の駐車場を設けたいということです。ただ、グラウンドを使わせていただくことになりますので、隅田小学校さんと、どの範囲まで使えるのか、運動場は運動会とかでも当然使いますので、そういったところは隅田小学校さんとも、すり合わせもさせていただいてる中でこのような提案させていただいています。
委員	小学校のとき下兵庫から乗らせていただいていたんです。なんで既存のバス停をずっと使われとったんで、ちょっと事故もあったんで本当にこういうのできたら、すごい安全やと思いました。

4 通学安全対策（3）スクールバス乗降システムの導入について（審議 資料 16P、23～24P）

議題「スクールバス乗降システムの導入」については、提案通り進めることについて了承される。

委員からの質問等は特になし

4 通学安全対策（4）通学路の安全対策について（報告 17P、25P）

委員からの質問等は特になし

4 通学安全対策（5）小学校の防犯対策について（報告 資料 17P、26～27P）

	議 事
委員	1点よくわからないのが、例えば隅田小学校の門は3つですね、恋野小学校では2つあると思うんですけども、ここはあえてつけない理由は何があるんでしょうか。
事務局	こちらの設置箇所につきましては、教育委員会の中で検討したものになるんですけども、主に設置の場合には、利用の頻度が高い部分でということで、隅田小学校でしたら、児童さんがスクールバスで移動する東門と、反対側のところということで2ヶ所。 恋野小学校はグラウンドの近くの駐車場等で皆さん送り迎えで利用されるというところで、正門の1ヶ所に設置しているところになります。
委員	恋野小学校は、当初教育委員会からこの提示があって、そのあと体育館の方の入口にも設置を要請して、OKをいただいています。
事務局	隅田小学校の東門のちょっと北にある門は、駐車場の入口になってまして、子供たちが出入りするところには、なっていないということです。
委員	隅田小学校について、現在は2ヶ所で検討されてるのはいいかと思うんですけども、先ほどお話にありまし停留所を進めていくということになっているので、そこに設置は考えられていますか。

事務局	先ほどお示しさせていただいた停留所のところでも設置する方向です。令和８年度ではないですけども、停留所がスタートする令和１０年の４月に向けて、防犯カメラの設置も考えていきたいと思っています。
-----	--

５ 地域連携について（報告 資料 28～29P）

委員からの質問等は特になし

６ 校名校歌（１）学校名・校歌・校章について（審議 資料 30P、32～33P）

議題「新しい校名とすること」については、継続審議となる。

議題「合同会議の委員選定」については、委員の人数を５名以上にすることとし、委員の選任については、正副委員長及び事務局に一任いただくことで承認される。

委員からの質問等は以下のとおり。

	議 事
委員	隅田小学校の準備委員会でどのような意見が出たのを知りたいんです。ここが一番の時間かかる場所かと思うんです。校歌・校名これを１からという部分であれば、資料見させていただいたら、やっぱり時間かかるといったんです。まずどういう意見が出たのかを聞かしてもらっていいですか。
事務局	まず恋野小学校の準備委員会として、どういう整理になるのかを議論をいただきたいと思っています。隅田小学校の準備委員会はいろんなご意見出ましたが、質問もいただいたんですけども、一旦純粋に準備委員会のご意見いただくところからスタートしてもよろしいですか。
委員長	その方がいいと思います。
委員	この再編統合で新入学生として４月から隅田小学校へいってる親の立場ですけど、以前から学校名変わるとか、校歌が変わるといふ新しい学校に行く気持ちでみたいな感じの説明やったんですけど、そこはいつでも良いと思っています。言い方悪いんですけど、全く１から新しい建物ができます。そこに恋野も隅田も行くというんやったら、新しい学校というふうに思うのかなとしたら、ただ名前変わって校歌変わるというだけで、２年後に再編統合したときに、また校歌の作詞作曲もせなあかんとか、そういうのにお金を使うのであれば、もっと違うところにお金を使っていた方がいいんじゃないかという意見です。
委員	同意見です。子供たちのために今再編を考えてくださっている。 そしてお金の部分に関してもとっても逼迫状態であるであろう状況のときに、おっしゃる通りで、名前がどうこうというよりは内容の方が大事であり、例えば想像したときに、隅田小学校から変わるとなったときに、綴帳も高価だって先ほどおっしゃってましたが、綴帳変える、校章とかも全部変えるのは、お金も大きくかかってくると思うので、その部分に関して、子供たちの意思はわかんない部分はあるんですが、全然そのまんまでもいいんじゃないかと正直思ってしまった部分があるよねという話を、隅田小学校の方だったんですけどお話をさせていただいて、

	なるほどなと思っている部分があります。そしたらお金の部分がちょっと楽になるのかなと思ったりもします。
委員	恋野小学校の子が隅田小学校へ行って校歌覚えなさいというのが酷やと思うんです。再編統合やから、みんな1から同じスタート。スタートラインは一緒だと思います。だから、財政的な面言いだしたらきりがないと思うんで、これは役所の方が教育委員会の方が再編成しますと言ってんから、やっぱり経済的な面も負担出てくるだろうと思いますけど、それは多分覚悟してくれてると思います。だから、校名とかそういうのはやっぱり新しいものでお願いしたいと思います。
委員	先ほど言われてるところが時間がかかるころということなんです。 やっぱり子供としたら校名というより、楽しく行けるかなというところが全てなんですけども、やっぱり学校なくなるのは地域にとってはマイナスなんで、そこはもう残してあげたい。名前が隅田。それはどうかなというのがどうしても出てくると思うんで、子供というよりここに関しては地域のコミュニティのところの話になってくるのかなとはちょっと思うんです。 地域のコミュニティも大切です。これは恋野小学校がなくなるというのもすごい大事なものがなくなるというようには思います。 隅田も同じような話やと思うんですよ。なのでちょっとここが詰めていかなければならないので時間かかるなというところなんです。
委員	私も名前は変えたほうが良いという意見です。それはなぜかという娘と相談しました。この件に関して、小学校なくなるよねって、うちの娘に限っては、とても嫌だと言っていました。やっぱりいろんな子いると思うんです。変わることもあってへっちゃら、新しい学校楽しみという子もいれば、今の恋野小学校が大好きなのに、新しくならないといけないというところで、隅田小学校という名前の学校に入る形にどうしてもなってしまうと思うので、私の意見としては、やっぱり名前は変えたほうが良いと思います。 もちろん予算については、先ほど皆さんがおっしゃったように予算がかかること、お金がかかることは重々承知の上で統合進めていただいていると思うので、その点はしっかり市の方で予算つけていただいて、子供たちがすっきり、気持ちよく新しい学校で過ごせるようにしていただきたいと思います。
委員長	しっかりお金使っていただいても大丈夫だと思います。まずは新しい校名とする。教育委員会の提案からありました現在の2校の校名は新しい学校の校名に含めない。ここはどうですか。入れると後々、どっちな問題が出ると思いますんで、新しい方がいいと思うんですけど、よろしいですか。それではこれで進めていくことにします。 そして、2番目の合同会議の委員選定についてですけども。5名ぐらいという話がありましたけども、5名でいいですか。もうちょっと多いほうがいいですか。 そしたら合同委員会の委員選定については、事務局と委員長、副委員長に任せてよろしいですか。それで委員選定してもらいます。5名でよろしいですか。私もうち

	よっとふやしたほうがいいと思うんですけど。6～7名っていうところでどうですか。5名でいいですか。
委員	ここのメンバーでもこれだけいてるんやから、5名ではなくて7名ぐらいにして、隅田小学校の準備委員会も7名ぐらいの方が、もめることも多いかもしれないけれども、意見がたくさん出て、新しいところに向けてみんなで考えていくということについてはいいのじゃないかと思います。
事務局	事務局から5名程度とさせていただいてますのは、おっしゃられたみたいに人数が5名でいいのか、選び方もどうなのかというところもありまして、5名程度に提案させていただいてます。隅田と恋野の人数も合わせる必要も出てきますので、5名は目安というか、そういうことで正副委員長さんにご一任いただいでいく中で、隅田との人数の調整も含めて、一任いただけたらありがたいと思うんですけども、いかがでしょうか。
委員長	それでは5名以上ということで1つよろしいか。事務局で進めてください。
事務局	それからもう1点。隅田小学校の準備委員会では、たくさんいろいろご意見が出た中で、もう少し意見交換して進める必要があるんじゃないかということで、結論が出てるわけではなくて、継続審議になっています。 恋野小学校さんと隅田小学校さんの意見のまとまる内容とか時期とかも含めて、合同の会議の中で、お話し合いもしていただかないといけないんですけども、そんな状況になっています。 名前を変えることについてのいろんな意見が出て、隅田の準備委員会として意見の一致をさしていくには、もう少し隅田の中でもいろんな意見があるんで、意見交換が必要じゃないかっていうことで、引き続き、ここについては時間がまだもう少しございますので、次の委員会でも同じように継続して協議が必要ということで継続審議になっています。 資料の30ページをご覧ください。 その学校名・校歌・校章についての審議事項の①の部分です。これについては継続審査と言う事で、先日行われた隅田小学校の学校再編準備委員会では、そういう結論になっています。②の合同会議の委員選定については、一応承認をされておって、両準備委員会から委員さんを出して、話し合いをしていきたいと思いますところについては、了承いただいています。
委員	向こうは継続審議っていうことらしいですけども。 もう一度聞きます。新しい学校名でよろしいですね。はい。 恋野はそれでいきたいと思いますんで、よろしくお願いします。
委員	私たちの意見がちょっと今バシッと切られた感じがして、どうしようかなという状況にはなってるんです。すごく個人的な意見が飛び交ってる会議になっちゃってるのがすごく気になって。それももちろん大事だと思います。すごく地域としては大事やと思うんですけど。どうなんでしょうか。
委員	私たち地域は保護者説明会のときに参加できなくて、保護者の人がどういうふう

	思ってるかを知らないです。なので、どういうふうに考えているのかは聞きたいです。意見が違うとしても、もう少し聞く時間あっていいかな。
委員	2月14日のときに、教育長さんも市長さんも来て説明あったときに、新しい校名にしますと、その時点でおっしゃったような気がするんですけども。どうですか。
事務局	今日は提案させていただいてる新しい学校名とすることということで、事務局としては提案させていただいてるんですけども、これに関して本当にいろんなご意見が出ると思っています。 意見はいろいろあったにしても、最終、やっぱり皆さんの総意として、これでいいんじゃないかというところに、いっていただきたいというのもありまして、ここは少しお時間もありますので、慎重に丁寧に意見交換をしていただくのも1つなのかなと思っています。提案としてはこういう形にしているんですけども、それぞれご意見が出ようかと思いますので、時間取っていただくのもいいのではないかと考えています。
委員	多分そのへんで迷って、隅田小学校1年生入学したん違うのかな。多分そのところが、自分たちの思っている気持ちと、子供を大事にするということも大切だと思いますけれども。
委員長	区長会においても、これまで賛成してきた中で、学校を統合すると、新しい学校をつくるってということで、区長会は賛成しております。 意見はどんどん交わしていただいたらと思うんですけども。 基本的なところかと思うんで、そこが一番大事かなと感じております。 またもう一度考えていただいて、次の2回にこの話継続したいと思います。

6 校名校歌（2）学用品等について（報告 資料 30～31P、34P）

委員からの質問等は以下のとおり。

	議 事
委員	学校用品についてですけども、教科書については橋本市内なので同じやと思うんですけども、その教材、例えば図工で使う用品だったり、ドリルとか、そういったものは学校によって違うこと結構あるんです、先生が選ぶので。なのでそのあたりについてご負担いただけるかどうかお伺いしたいです。
事務局	教材については、学年によって、また学校によって内容が異なるものになっていると思います。通常毎年学年によって負担額等も異なる内容となっていると思います。現在、新しい学校の内容としましては議論しているんですけども、教材については議論の方がまだできていないというところになります。
委員	教材についても、再編統合がない限りは負担がないものになりますので、ぜひ負担いただけたらと思います。ご検討よろしくお願いします。
教育長	新たな学年で一緒になりますので、その学年で使うものについては一緒になります。ただ、何年間か使うものもあります。そういうものについては、事前に学校間で話し合いをして、統一することによって、それぞれの負担というのは、新たなも

	のというのは発生しにくいかと思います。そのあたりはご心配なさらなくてもいいのかなと、そんなふうに考えてください。
委員	「新しい学校」というこの言葉はどこまで事務局であったり、議会での説明の中でどういう意味合いで使われてきたのか。新しい校名に変わるとか、その辺はすごくよくわかるんですけども、例えばこの体操服、隅田小学校に統一になったら、その新しい学校と捉えてはるのかどうか。その辺もちょっとあやふややなと思ったんで、その辺の考えを聞かせてもらえたらと思いました。
事務局	体操服の例を出していただいたんですけども、今まで2校が一緒になって再編統合という表現させていただいてるんです。2つが一緒になって新しい学校としてスタートしますというのが大きな考え方です。 その上で、この学用品には、校章や校名が入ってるものもありますし、入ってないものもあります。新しい学校がスタートすることによって、直接負担になってくるもの、保護者さんの負担になってくるものは、市として負担していくべきという考え方もあります。学用品や、他にもありましたけど、物として大事に使っていくという考え方もありますので、事前にそういう調整して、進めていくというようなものも出てくようかと思うんです。 大きな意味でいうとその2つの学校が一緒になって新しい学校がスタートしていきますというところです。
委員	場合によっては、これから議論をしていろんな意見をもらう中で、体操服も新しいのを作っていくことになった場合は、それは市負担で全部買っていくような方向になっていくこともあり得るということなんですか。体操服だけの話じゃないと思うんですけど。
事務局	体操服は、この準備委員会での報告させていただいた上で、了承いただいた内容をもとに、両校の検討というのを尊重して決めていきたいと考えています。 その段階で、もし新しい体操服を作っていきますというふうになるのであれば、隅田小学校、恋野小学校の両校の体操服も変わることにになりますんで、その場合は市負担での買い替えになると考えています。 ただ今回報告させていただいた内容については、両校で事前に確認いただいた内容になりますので、基本はこれをベースに進めていくというようなことで事務局としては考えています。
委員	新しい学校のことで、その施設面で隅田小学校の緞帳の話があったと思います。以前、隅田小学校で勤務してましたが、下ろせなくなったり、上げられなくなったりの危険もあることで緞帳は見たことがありません。隅田小学校の緞帳もすばらしいけれど、恋野小学校の緞帳もかわいくて、すごくいいので上げ下ろししています。それで考えたときに、新しい学校、その費用面はいろいろあると思うんですけども、そこもやっぱり緞帳も、そのまま隅田小学校の緞帳を直すんだとちょっと思いました。
委員	体操服の場合、途中で校名が変わる学校で、令和10年の1年生から変えますよ。2

	年から上は今までの体操服をずっと使えるんですよ。6年経ったらみんな同じ体操服になりますよとしたらどうですか。
委員	例えば転校生がきた場合は、そのまま1人体操服が違うということもあります。その場合、子供さんが嫌がって、保護者が買いかえることもあったりします。なのでケースバイケースかなと思います。
委員	基本的には1人だけ変わったりというのはいかがかなあと思います。特に恋野の子供だけ違うよなという話になると、同じ方がいいかなと思います。 これはちょっと保護者の方にもう一度確認いただいて、進めていただけたらどうかと思うんですけど、どうですか。
事務局	さっき工夫によっていないかもわからないという教材の話も含めて、今日の時点で議論できてなかったという項目もあります。これをベースにはさせていただきたいと思うんですけども、そこはもう少し、調整を深めたいと思います。

7 その他

委員からの質問等は以下のとおり。

	議 事
委員	貴重な意見の場をいただいてありがたいんですけど、できたら時間を決めていただけたらありがたいです。
事務局	わかりました。今日は1回目で議題が多かったんですけども、次からまだ終わる時間きっちり守れるような形で進行をさせていただきます。
委員	今日のこの話というのは別に口外しても大丈夫なんでしょうか。
事務局	今日の会議は記録取りまとめた後、公開もさせていただきます。すべてを載せるといことにはならないと思うんですけども、再編だよりみたいな形で、地域の皆さんに、こういう議論が行われてますよ、こういうことが決まってきましたというお知らせをしていきたいと思います。 正式な記録等については市ホームページに掲載をさせていただきます。